

より住みやすい町を目指して 第1回区長懇談会を開催



4月19日(土)、平成26年度第1回区長懇談会が中央公民館で行われました。区長懇談会とは、町政をより身近なものとするため、町政や地域の諸問題について、区長の皆さんと町長をはじめとする町の幹部職員とが直接話し合うものです。

懇談会前には、町内65地区の全区長で組織される区長連絡協議会の総会が開催され、須貝勝司会長(達磨寺2区長)をはじめとする役員が選出され、今年度の運営体制が整いました。また、町内のほぼ全世帯が加入する町災害互助会会計の平成25年度決算等が承認されました。

続いて行われた懇談会には、各地区区長のほか、町長、副町長、教育長、各課長等が出席し、今年度の町予算と主な施策について説明。円滑に町政を運営するため、区長の皆さんへ協力をお願いしました。

住みよい町づくりや、それぞれの地区での問題の解決には区長だけでなく、町民の皆さんの協力が不可欠です。地域の課題に関心をもち、地区の活動・運営等に対し、区長へのご協力をお願いいたします。

町の広報方針を決定 第1回広報委員会を開催



4月23日(水)、平成26年度第1回広報委員会が開催されました。

議会、教育関係、商工業、農業などの各種団体や、公募によって選出された新委員に委嘱状が交付されたあと、平成26年度の町の広報方針について話し合わせ、次のとおり決定しました。

◆広報なかやま

毎月15日に発行。全面カラーで、誰にでも読みやすい「ユニバーサル書体」を採用しています。

町内の出来事や人物、行政情報を写真、資料、イラストを交え、より分かりやすく親しまれる広報紙を目指します。

◆お知らせ版

毎月1日・15日に発行。また、災害時などの緊急時には臨時号を発行します。レイアウトや文章を工夫し、より読みやすい紙面作りを目指します。

◆町公式ホームページ

原則毎月1日・15日に更新。緊急時にはその都度更新し、町内外へ最新の情報を発信します。

◆広報車等による町内巡回広報

災害時など、緊急に広報する必要がある場合に行います。車のスピードを落とし、アナウンスがよく聞こえるように巡回するように心がけます。

◆マスコミによる広報

マスコミ各社に積極的に情報を発信し、町のPRに努めます。

困ったら一人で悩まず 行政相談



黒沼裕一さん

行政相談委員は、総務大臣から委嘱された民間有識者で、全国に約5000人おり、当町では黒沼裕一さんが委嘱されています。

医療保険や年金、道路の維持管理、雇用、社会福祉など、行政全般にわたるさまざまな分野の相談に応じ、関係行政機関との間に立って、解決のための助言や関係行政機関に対する通知などの仕事を行っています。

困ったことがありますたら、一人で悩まずに電話などでお気軽にご相談ください。

※黒沼裕一さんご連絡先
中山町あおば23-15
(☎6622-4828)

※行政相談に関するお問い合わせ先
総務省山形行政評価事務所
(☎6322-3113)

第86話 天保の飢饉

中山町歴史散策

天明の飢饉から50年ほど後に天保の飢饉がありました。

天保4年(1833)の6月26日から28日にかけて未曾有と称される最上川の洪水があり、長崎村の北寄りの地に新川ができ、17戸が流出、向長崎、川窪が分断される最大の川欠け事故が発生しています。

これらの事情を『中山町史』資料からみると柴橋代官所付の村々で、飢人2万4289人、米どころの達磨寺村でも村の住人678人中533人が飢人になっています。近隣では、上山藩の場合、城内の囲米(貯蔵米)3000俵を払い出し、35年賦のほか、困窮者1人当たり500文ずつの銭を融通した例もあります。全国では34万6000人の餓死者を見、内10万人は奥羽の餓死者であったと言われています(『農業史年表』)。

天保5年(1834)1月には、ますます食糧事情は悪化し、さしもの長崎村でさえ、630戸中500戸以上も自

家産米を食い尽くし買夫食の状況となりました(「柏倉家文蔵文書」)。

このため、柴橋代官所手代宮部潤八郎は、深堀村、志戸田村、長崎村など最上川川岸に出向き救米を配っています。3月になると米価は1両につき5斗1升から2斗5・6升となり、路頭には物乞いする老若男女が溢れ、柴橋代官所付の69か村に取調帳の提出を求めた資料によると長崎村界限でも多くの餓死者を見ています。『柏倉文蔵家』の記録からも天保5年の飢饉の深刻さがうかがえます。

【用語の説明】
飢 人：飢饉で亡くなった人のこと。

買夫食：農民が食糧を買うこと。

※参考 中山町史 中巻
第9章第2節 冷害・旱害
の記録と対策

なかやま
タイムスナップ
Vol.12

今から52年前…
1962
(昭和37年)
投票率県1位

投票率、県で最高
文新田地区がもっともよい

好成績だった参院選
出足よく90パーセント

乗用車の贈りもの
投票率県一で受影

平均上廻る

52年前に行われた参議院選では投票開始とともに有権者の出足がよく、中山町の投票率は90・02%で県下1位となりました。

中山町は、それまでの選挙でも高い投票率を誇っており、町内12の投票所で県平均を上回り、特に文新田地区では95%という高い投票率でした。

投票率県下1位ということで、当時の山形新聞会館で行われた表彰式では、服部町長や毛利選挙管理委員長らが出席。安孫子知事から大衆車マツダキャロル(4人乗り軽乗用車)1台が贈られました。

中山町の前回参議院選投票率が約63%でしたので、当時の投票率がいかに高いかがわかります。皆さんもぜひ投票所に足を運んで欲しいです。

案内人
すもものしずくちゃん
すもものしずくちゃんの詳細はフェイスブックで